

題 材 「仲よく遊ぶためには・・・」(対象：中学年)

1 ねらい

相手を尊重しながら、自分の気持ちを上手に伝えることの大切さを理解させる

2 場面設定

昼休み、ブランコで遊んでいたらかわってと言われた

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、前段の部分を読む。)

みなさん、こんなことは今までありませんでしたか？

友だちから「かわって」と言われたときに、自分ならどう応えるか考えながら聞いてください。

□ (①を読む。)

どうでしたか？

こんな風に言われたら、あきなさんはどう思うかな？

「もういいわ」とか「何よ。かわってくれてもいいじゃない！」と少しけんかみたいになるかもしれないね。

□ (②を読む。)

これはどうかな？

あきなさんは、「ありがとう」と言って喜んでくれるかもしれないけど、私だってブランコをやりたいよね。

□ (③を読む。)

これはどうかな？

あきなさんは、「ありがとう」と言ってくれるだろうし、私もブランコができるよね。そして、一緒に仲よく遊べそうだね。

□ ①はあきなさんの気持ちを考えていないよね。②は自分の気持ちを伝えていないよね。それに対して、③は自分の気持ちもあきなさんの気持ちも大切にしたい言い方だと思いませんか？

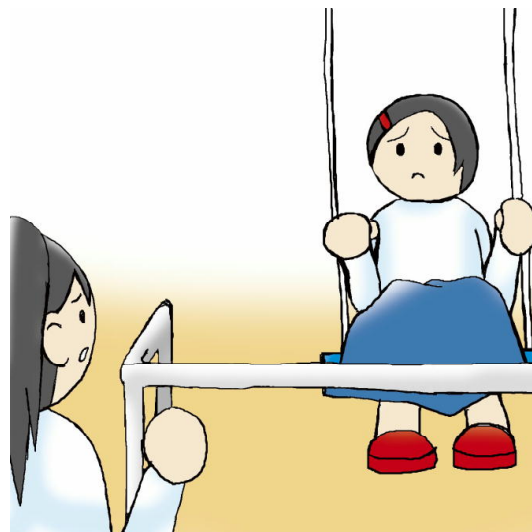
みなさんには、友だちの気持ちを大切にしながら、自分の気持ちもうまく伝えることができるようになってほしいと願っています。

# 仲よく遊ぶためには・・・

どう言ったらいいのかな？  
ことわったらけんかになってしまうのかな？

ひるやす 昼休み、わたしは大好きなブラン  
コで遊んでいました。そこへ、あき  
なさんがやってきて、ブランコをか  
わってほしいと言いますが、わたし  
は、まだ遊び始めたばかりで、かわ  
りたくありません。

こんな時、どう言ったらいいのかな？



- ① あきな 「ブランコかわって。」  
わたし 「いやよ！今、始めたばかりだもん。  
ちが 違うもので遊べば。」  
あきな 「〇〇〇〇」
- ② あきな 「ブランコかわって。」  
わたし 「えー。しょうがないなー。あと  
にもかわってよ。」  
あきな 「△△△△」
- ③ あきな 「ブランコかわって。」  
わたし 「ごめんね。わたしも今始めたばかり  
なの。すこ 少々待ってて。交代で遊ぼう！」  
あきな 「□□□□」

題 材 「先生に言ったほうがいいのかな？」(対象：低学年)

1 ねらい

善悪を判断し、正しく行動できるようにさせる

2 場面設定

家からゲーム機を持ってきている

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

男子は、「だって、楽しいもん」と言って、学校の約束を破っています。

ゲームが楽しいという気持ちは分かります。でも、学校にゲームを持ってくるとはよくないことですね。

□ 学校にはいろいろな約束がありますが、それはみなさんが安心して学校生活を送るためにあるのです。

もし、こんなことがあったら、「ゲームを持ってきたらいけないよ」と言ってあげましょう。

それでも聞いてくれないときは、先生に相談してください。

□ ゲームを持ってきていることを先生に伝えると、「先生に言いつけた」と言う人がいますが、それは間違いです。

言ってあげないと、間違っただけをずっと続けてしまうことになりますよね。

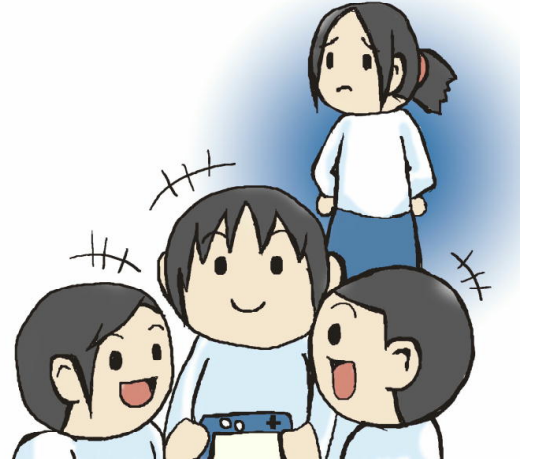
□ これからも、間違っただけがあれば、みんなで注意し合いましょう。

先生もみなさんの力になります。

# 先生に言ったほうがいいのかな？

がっこう  
学校のやくそくはまもらないといけない  
だまっておくのはイヤだな

やす じかん だんし たの はなし  
休み時間、男子が楽しそうに話を  
をしています。何かなとおもって近  
くに行ってみると、家からゲーム  
をもってきているのです。



「学校にはいらぬものをもつてきてはいけぬのに」とおも  
っている・・・

だんし せんせい い  
男子 「先生に言っちゃだめだよ。」

わたし がっこう  
わたし 「学校にはいらぬものをもつて  
きたらいけぬのよ。」

だんし たの  
男子 「だって、楽しいもん。」

わたし 「でも・・・」

どうすればいいのかなあ？

題 材 「おかしいと思うんだけど？」(対象：高学年)

1 ねらい

自分で正しく判断し、適切な行動ができるようにさせる

2 場面設定

鉄棒で遊んでいると、上級生に譲れと言われた

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

みなさんは、どう思いますか？

私たちの学校にも、先輩から受け継がれたすばらしい伝統があります。

しかし、中には「あれ、おかしいな」と思うことがあるかもしれませんね。

□ 資料の中では、下級生は上級生に遊び場を譲ることになっている、ということがあるようです。

おそらく、この上級生も自分が下級生の時、同じように「遊び場を譲れ」と言われてきたのでしょうね。きっとそのときは、嫌な思いをしたはずですが、自分が上級生になったら、同じことをしていますね。

遊び場は学年に関係なく、みんなで仲よく使う所ですよ。

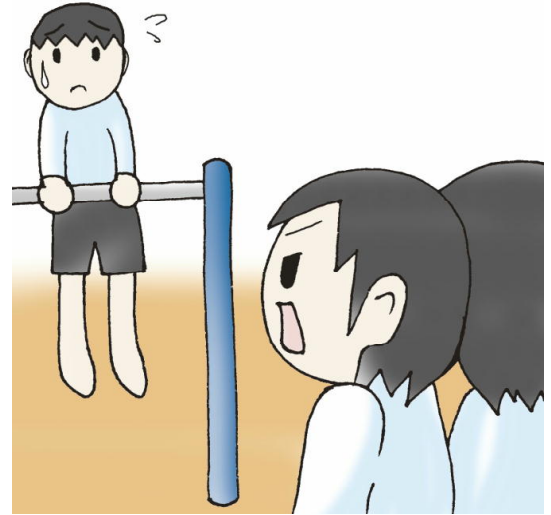
□ では、これまで「おかしいな」と感じてきたことを、誰が変えることができるのでしょうか？

それは、上級生であるあなたたちだからこそ、変えることができるのではないのでしょうか。

すばらしい伝統はしっかりと引き継ぎ、「おかしいな」と思うことがあれば、それを上級生であるみなさんの力で変えていくことで、さらに、すばらしい学校にしていきたいと思います。

## おかしいおもと思うんだけど？

おかしいおもと思うんだけど？  
でも、いま今までずっとつづ続けてきたし・・・



ぼくたちのがっこう学校には、「あいさつ  
がよくできる」「おお大きなこえ声でうた歌える」  
など、すばらしいでんとう伝統がたくさん  
あり、ぼくはこのがっこう学校がだいす大好きで  
す。

でも、ひと一つだけなっとく納得できないことがあります。それは・・・

ぼくが4年生ねんせいのとき、てつぼう鉄棒であそ遊んでいる  
と、じょうきゅうせい上級生がやきって来て、「そこ、どけ！」  
と言いわれたことです。ぼくは、「どうしてで  
すか？」と聞ききましたが、「じょうきゅうせい上級生が来たら、  
かきゅうせい下級生はゆきずることになってるんだぞ！」  
とそのじょうきゅうせい上級生は言いうのです。

おかしいおもと思うんだけど？

題 材 「勇気を出して・・・」(対象：中学年)

1 ねらい

集団の一員として、不適切な言動を皆で正すことの大切さを理解させる

2 場面設定

いじめの場面で、勇気を出して注意した

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

まこと君は、いつもクラスの人からイヤなあだ名で呼ばれて、からかわられていました。本当にイヤな気持ちだったでしょうね。

一番辛いのはもちろんまこと君ですが、それを見ていたクラスの友だちもイヤな気持ちになっていました。

□ 我慢できなくなった「みつる君」が勇気を出してみんなに言いました。

また、そんなみつる君の勇気で、「ぼく」も自分が今まで思っていたことを言うことができました。

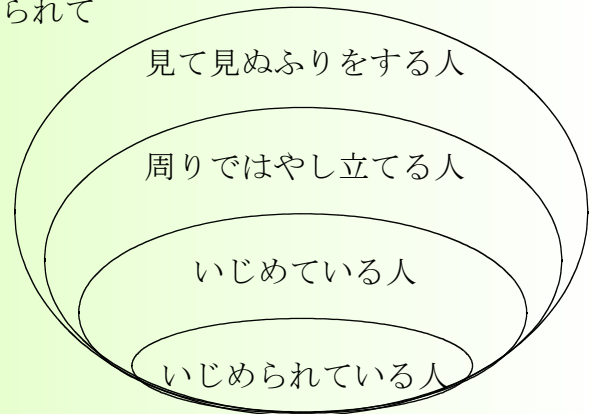
□ イヤなあだ名で呼ぶことはもちろんいじめです。

「いじめ」は、いじめている人といじめられている人だけの問題ではありません。

それを周りで見ている人、その人たちの中には、いじめを見ておもしろがっている人もいるかもしれません。また、見て見ぬふりをしている人もいるかもしれません。

実はその人たちも、いじめていることと同じなんです。

いじめはみんなの問題なのです。いじめをなくすためには、みんなの力が必要なのです。



□ みつる君やぼくが言った、「みんなで仲よくしよう。その方が楽しいに決まっている。」「からかわれているのを見るのは、とてもイヤだった。」というところはとても大切だと思います。

みなさんには、クラスの一員として、「いじめは許さない」という強い気持ちで学校生活を送ってほしいと願っています。



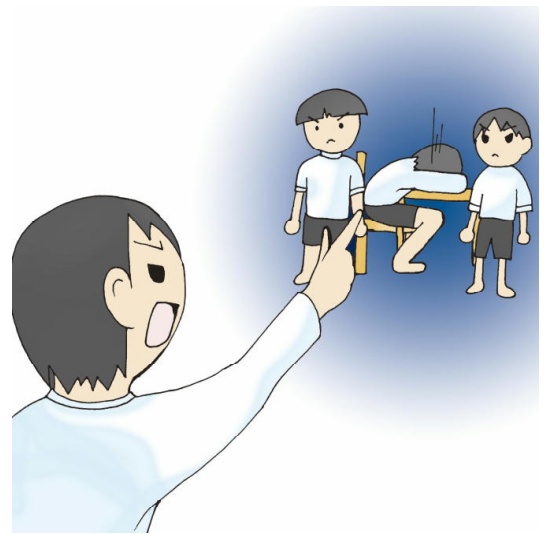
## 勇気を出して・・・

何でからかったりするの？  
そんなこともうやめようよ・・・

ぼくたちのクラスのまこと君は、  
いつもイヤなあだ名でよばれていま  
す。

ぼくは、注意したいけど、なかなか  
その勇気が出ません。

今日も、まこと君がイヤなあだ名  
を言われて、からかわれていました。  
そのとき、みつる君が大きな声で言いました。



「まこと君がいやがっているじゃないか。  
何で人のいやがることを言うんだよ。み  
んなで仲よくしようよ。その方が楽しい  
に決まっているよ。」

ぼくは、今まで言えなかったことをみつる君が言ってくれて、  
うれしくなりました。それと、今まで言えなかった自分がはずか  
しくなりました。だから、ぼくも勇気を出して言いました。

「ぼくも、みつる君と同じ意見だよ。今  
まで言えなかったけど、からかわれてい  
るのを見るのは、とてもいやだった。も  
う、こんなことやめようよ。」

みんなも、うなづいてくれました。